



# ワンちゃんの 防災対策

災害が起こると、大切な愛犬も危険にさらされます。愛犬を守れるのは、飼い主さんだけです。大災害となれば、人も多少の被害は免れません。しかし、日頃からの備えがあれば被害を軽減できるかも。防災グッズをあらかじめ用意し、すぐに持ち出せるようにしておくといよいでしょう。

## □処方食



愛犬が食事の制限のある病気の治療中なら必ず必要です。

## □現在服用している薬



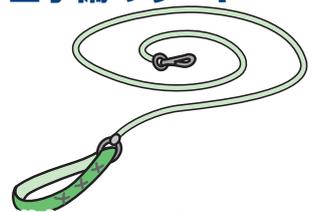
飲み薬、塗り薬など。5日分あればとりあえず安心です。

## □5日分のフードと水



支援物資の配給は人のものが優先。飼い主各自で用意しましょう。

## □予備のリード



災害時は大変混乱します。ワンちゃんを行方不明にしないためにも。

## □愛犬手帳



予防接種の履歴や病歴などの確認のため。自治体などで配付される場合も。

## □トイレシート



避難場所で迷惑をかけないためにも。多めに用意しましょう。



## □お手入れ用品



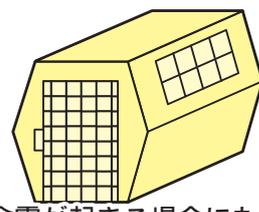
避難場所で予想以上に汚れることも。必要最低限用意しましょう。

## □タオル・毛布



愛犬の三つ葉がついたものなら落ち着いて過ごすのに役立つでしょう。

## □クレート・キャリーバッグ



余震が起きる場合にも備え、確実に愛犬を保護するために必要です。

## □愛犬と飼い主さんが 写った写真



行方不明になったときの手がかりになります。

大地震が発生してから最寄りの避難所に行くまでに、飼い主さんは何をすればよいのでしょうか。いざというときパニックにならないために、日頃から災害発生時の行動を確認しておきましょう。



## ①避難経路を確保



まず先にやることは、避難経路の確保。大きな揺れで家具などが倒れ、逃げ道がふさがれてしまうのを防ぐためです。急いで窓やドアなどを開けましょう。ただし、揺れが激しくて動きがとれないときは、まず身を守ります。

## ②自分の身を守る



テーブルの下などに隠れて、揺れがおさまるまで待機。この時点で犬を保護できていないと、探したくなるはず。でも今動く、飼い主さんの身が危険。飼い主さんが無事でいてこそ犬を助けることができるのですから、ここはグッとガマン。犬は呼んで来させるようにするか、揺れがおさまったあとに保護します。

最初の揺れがおさまったら犬を保護します。抱っこするだけでなく、リードをつけて確実に保護しておきましょう。動き回る犬にすばやくリードがつけられるよう、首輪は普段からつけておくようにしましょう。

## ③犬を保護する



## ④防災グッズをもって同行避難



すぐに避難所に向かうため、避難グッズを持ち、犬を連れて家を出ます。家に置いていったら、いつ戻れるかわかりません。災害が起きたら、犬は飼い主さんと同行避難するのが基本です。

## ⑤最寄りの避難場所まで歩く



避難所までは徒歩で。集合住宅ならエレベーターではなく階段を使いましょう。愛犬はクレート(ペットキャリーケース)に入れるか、いっしょに歩かせます。ガラスなどを踏まないよう、犬用の靴などを履かせるとよいでしょう。どのルートで行くか、別のルートはないか、所要時間はどのくらいかなどを事前に確認しておきましょう。

禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

# アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ  
ポイントも  
貯まる!



アプリ  
ダウンロードは  
こちら▶▶



Download on the  
App Store



ANDROID APP ON  
Google play

